

[兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科長]

1 氏 名 ながの やすゆき  
永 野 康 行

2 生年月日 昭和41年9月11日(57歳)

3 略 歴

平成 2年 3月 大阪大学工学部建築工学科 卒業  
平成 4年 3月 大阪大学大学院工学研究科建築工学専攻修士課程 修了  
平成 4年 4月 株式会社竹中工務店勤務(平成17年3月まで)  
平成15年 7月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士後期課程 修了  
平成17年 4月 福井工業大学助教授・准教授(平成23年3月まで)  
平成23年 4月 兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科教授(兼務)  
平成31年 4月 兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科長(令和4年3月まで)  
平成31年 4月 兵庫県立大学計算科学連携センター センター長(令和3年3月まで)  
令和3年 4月 兵庫県立大学大学院情報科学研究科教授(令和4年3月まで)  
令和3年 4月 兵庫県立大学大学院情報科学研究科 副研究科長(令和4年3月まで)  
令和3年 4月 兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科長(令和4年3月まで)  
令和3年 4月 兵庫県立大学データ計算科学連携センター センター長(令和4年3月まで)  
令和3年 11月 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授  
令和4年 4月 兵庫県立大学防災教育研究センター センター長  
令和4年 4月 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長(配置換え)

[現在に至る]

4 受賞歴 平成13年12月 第48回日本建築協会青年技術者顕彰  
(社団法人 日本建築協会)

5 学 位 平成15年7月 博士(工学)(京都大学)

6 専 攻 建築構造学、耐震工学、減災復興学

7 研究業績

著 書

- (1) 構造最適化の最近の発展と設計への応用事例(共著)、丸善出版(2020)
  - (2) 姫路城の「真実」(共著)、神戸新聞総合出版センター(2019)
  - (3) 災害に立ち向かう人づくり 減災社会構築と被災地復興の礎(共著)、ミネルヴァ書房(2018)
- 外4件

論 文(共著)

- (1) 鋼構造建築物の用途に応じた架構形式に基づく地震時安全性評価、鋼構造年次論文報告集第31巻、pp.577-590(2023)
- (2) A Study on the Seismic Disaster Risk Assessment for Buildings under Construction in Urban Areas ~ Safety Study Method on Column-to-column Temporary Joints of Steel Structures~, *Annual Journal of Urban Disaster Reduction Research* (Vol.9), pp.42-47(2022)
- (3) 想定南海地震における地域規模の建物被害予測 ー行政データ情報に基づく鋼構造建築物を対象としてー、鋼構造年次論文報告集第30巻、pp.579-583(2022)

外57件

特 許(共同出願)

- (1) 仮設上屋(特許第3072214号), 2000.5
- (2) 建物基礎構造(特許第3782083号), 2006.3
- (3) 組立式階段(特許第6377238号), 2018.8
- (4) 母屋補強を兼ねる天井吊ボルト懸吊金具(特許第6928224号), 2021.8

外特許出願中3件